

### 材料破壊の確認評価について

低温加振や大変形加振の実験後、VEM材が破壊したか否かの確認は、実験直後、元の測定温度に試験体に戻ったことを確認した後、 $\pm 50\%$ 程度の歪みでの再測定を行うことが望ましい。この結果より、 $G'$  に変化がないことの確認することで材料破壊の有無を確認することが出来る。また、外見検査も重要であるが、 $G'$  の確認作業により、確実な数値確認が可能となる。